



山田こうじです！

2021年2月21日

NO.253

事務所：西院上花田町36-3

電話：222-3728

携帯：090-3970-4701

山田こうじ共産党検索

「敬老乗車証守ろう！」署名提出！合計54,484筆

京都市は、コロナ禍と財政危機の「2つの危機」により財源対策が必要だと、敬老乗車証制度の廃止を含め、「市民リスト」を計画しています。

以前、「山田こうじです」No.252号でも、市民しんぶん2月1日付けで「最悪の場合、8年後には財政再建団体に：敬老乗車証廃止など」と報じていることを紹介しました。昨年末には、京都市が対象年と負担金引き上げを計画していると報道もありました。



緊急事態宣言延長・規模に応じた支援を！

飲食店等に対する営業時間短縮要請に伴う協力金の第一期分の受付が始まっています。給付対象になっている飲食店の中には、申請手続きのハードルが高く申請をためらっている事業者が寄り添った支援が必要です。民主商工会や組合を通じて給付金申請されている方も多くある中、取り残されている事業者も存在します。給付金額の4万円、6万円は零細な事業者にとっては大変ありがたい制度ですが、規模が大きな事業者にとっては不十分な制度で、事業規模に見合った給付が

ました。そもそも、敬老乗車証制度は、長年にわたり社会を支えてくださった高齢者に対する敬老のための制度であり、かつ、高齢者の生きがい、健康、地域経済の活性化に貢献する重要な制度です。本制度の改悪は断じて認められません。

保健福祉局の、高齢乗車証交付の本年度予算額は58億円です。一方で、「敬老乗車証守ろう」連絡会」が取り組んだアンケートの結果、この制度改悪を阻止するために頑張ります。

必要です。また、規模に応じた給付のためには、京都市に中小企業のための相談窓口を設け、業者団体を通じて申請を可能とすることも大切です。かつて京都市の「あつせん融資」では、中小企業センターでの申し込み受け付けるとともに、民主商工会などの業者団体にも、経営診断の権限を付与し団体を通じて融資あっせんも実施していました。

事業者へのきめ細かな支援を行う上でも、業者団体などの役割が大切です。

山田こうじです！

NO.245

私には、3人の娘がいいます。毎年、バレンタインデーには娘からのチョココレートが楽しみでしたが、今は3人とも京都にはいません。昨年の2月9日に、シドニーに住む末の娘が、京都に帰って、結婚式を挙げました。

東山区にある戒光寺で式を挙げ、西院の「家庭料理じゅん」さんで食事会。コロナ感染が広がり始めたぎりぎり、ささやかに祝うことが出来たことは幸いでした。

その時は、往来が可能で、オーストラリアからお母さんや妹さん、台湾からの友人も参加していただくこともできました。しかし、オーストラリアに帰る為に、関空へ送りましたが、空港がガラガラでした。

